

**製品名: NCoA-3 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab14454**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	160kDa

**抗原情報**

遺伝子名	NCOA3
別名	NCOA3; AIB1; BHLHE42; RAC3; TRAM1; Nuclear receptor coactivator 3; NCoA-3; ACTR; Amplified in breast cancer 1 protein; AIB-1; CBP-interacting protein; pCIP; Class E basic helix-loop-helix protein 42; bHLHe42; Receptor-associated coactivator 3; RAC-3; Steroid receptor coactivator protein 3; SRC-3; Thyroid hormone receptor activator molecule 1; TRAM-1
遺伝子 ID	8202.0
SwissProt ID	Q9Y6Q9
免疫原	ヒト NCoA-3 の内部領域から得られた合成ペプチド。

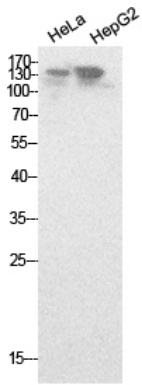
## 背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、核内受容体コアクチベーターであり、核内ホルモン受容体と相互作用して転写活性化機能を増強します。コードされるタンパク質はヒストンアセチルトランスフェラーゼ活性を有し、多サブユニット共活性化複合体の一部として p300/CBP 関連因子および CREB 結合タンパク質をリクルートします。このタンパク質は当初細胞質に存在しますが、リン酸化されると核に移行します。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つかっています。さらに、コードされるタンパク質の C 末端には多型反復領域が存在します。[RefSeq 提供、2010 年 3 月]、代替製品: 追加のアイソフォームが存在するようです、触媒活性: アセチル CoA + ヒストン = CoA + アセチルヒストン、ドメイン: 3 つの Leu-Xaa-Xaa-Leu-Leu (LXXLL) モチーフを含みます。モチーフ 1 と 2 は核内受容体との会合に必須であり、RID ドメイン (受容体相互作用ドメイン) を構成する。、酵素調節: 核内受容体および NF-κB 経路に対するコアクチベーター活性は、それぞれ様々なホルモンおよび TNF サイトカインによって増強される。TNF 刺激はおそらくリン酸化を増強し、それが今度はコアクチベーター機能を活性化する。対照的に、CREBBP によるアセチル化は、核内受容体との会合を破壊することによって標的遺伝子の共活性化を抑制すると思われる。、機能: 核内受容体コアクチベーターは、核内受容体に直接結合し、ホルモン依存的に転写活性を刺激する。おそらくクロマチンのリモデリングを介して作用する、マルチサブユニットコアクチベーター複合体の形成に中心的な役割を果たす。ステロイド (GR および ER)、レチノイド (RAR および RXR)、甲状腺ホルモン (TR)、ビタミン D3 (VDR)、プロスタノイド (PPAR) など、様々な核内受容体の共活性化に関与する。ヒストンアセチルトランスフェラーゼ活性を示す。また、NFKB1 サブユニットとの相互作用を介して NF-κB 経路の共活性化にも関与する。、その他: NCOA3 は、乳がんおよび卵巣がんにおいて頻繁に増幅または過剰発現する。、多型: ポリ Gln 領域の長さは、正常集団において多型性を示す。、PTM: CREBBP によってアセチル化される。アセチル化は RID ドメインで起こり、核内受容体との相互作用を阻害し、その機能を調節する。、PTM: CARM1 によってメチル化される。、PTM: IKK 複合体によってリン酸化される。機能を調節しています。、類似性: SRC/p160 核内受容体コアクチベーターファミリーに属します。、類似性: 1 つの基本ヘリックス-ループ-ヘリックス (bHLH) ドメインを含みます。、類似性: 1 つの PAS (PER-ARNT-SIM) ドメインを含みます。、細胞内局在: 主に細胞質内にあり、わずかに核内に存在します。TNF 活性化とそれに続くリン酸化により、細胞質から核に移行します。、サブユニット: CARM1 と相互作用します (類似性による)。NCOA2、IKKA、IKKB、IKBK、およびヒストンアセチルトランスフェラーゼタンパク質 CREBBP を含む複合体として存在します。CASP8AP2、NR3C1、および PCAF と相互作用します。ATAD2 と相互作用し、この相互作用はエストロゲンによって強化されます。、組織特異性: 広く発現しています。心臓、骨格筋、膵臓、胎盤で高発現しています。脳での発現は低く、肺、肝臓、腎臓での発現は非常に低い。

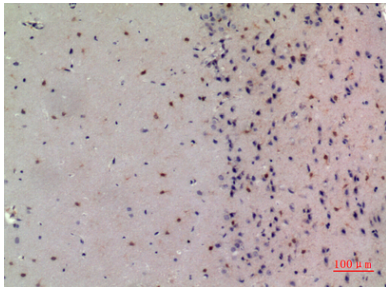
## 研究分野

経路とプロセス; 代謝シグナル伝達経路; 脂質およびリポタンパク質代謝; 脂質代謝; 代謝; 疾患の種類; 肥満; 脂質およびリポタンパク質の代謝; シグナル伝達; 核シグナル伝達; 核ホルモン受容体; コアクチベーターおよびリプレッサー; がん; がん代謝; 核シグナル伝達経路; 核受容体; コアクチベーター/コリプレッサー; エピジェネティクスと核シグナル伝達; クロマチン修飾酵素; アセチル化; HAT; 核シグナル伝達経路; 核受容体; コアクチベーター/コリプレッサー; シグナル伝達経路; 核シグナル伝達

## 画像データ



NCoA-3 ポリクローナル抗体を用いた HeLa 細胞、HepG2 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈されました。



パラフィン包埋マウス脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された